

語学職員の日



Ⅱ種
語学(英語)

平野 佳那子

大臣官房 広報課 国際広報班 (併) 報道室 H24年入省

9:00 登庁 日によっては早朝から出勤しなければならない日もありますが、普段は概ね9時前に登庁しています。出勤したら、新聞チェックから1日がスタート。防衛省に関連することがどのように報道されているかを把握することは、私の部署の重要な業務の一つです。英字新聞も隅々まで確認します。

9:30 課業開始 課業開始とともに問い合わせの電話が鳴り始め、その対応に追われます。報道室の主要な業務は、報道関係者から寄せられる様々な問い合わせに対応することです。防衛省の行っていることが適切に外に発信されるように、関係部署と調整しながら回答します。

10:00~12:00 午前中の仕事 私は語学職として、主に海外の報道機関からの問い合わせに対応しています。防衛省に対する海外からの関心の高まりとともに、海外からの問い合わせも増えています。英語での問い合わせには、私の出番です！問い合わせ内容を正確に把握できるよう慎重に対応します。

12:00~13:00 昼休み お昼はいつも上司や同僚と省内の食堂に行きます。仕事部屋にいる間は、緊張感漂う場面も多いので、お昼休みはほっとできる大切な時間です。たわいもない話をしながら、気分転換をしてメリハリをつけています。

13:00~16:00 午後の仕事

今回の海外出張の準備のため、資料の英訳や大使館の方との調整を行います。高官の出張に同行して現地にて記者会見の場の統制などを行うことも大きな業務の一つで、その準備は入念に行います。私は語学職なので、海外出張に同行することが多いです。

16:00~ 夕方の仕事

来週予定されている通訳の原稿の英訳を行います。私の部署は通訳の機会は少ないですが、今回は、防衛大臣と外国の防衛大臣との共同記者会見において、海外メディアも多数参加する中で上司が事前説明を行うため、私が通訳を任されました。

18:15 課業終了

退庁

報道という業務上、なかなか自分のペースで仕事をするのは難しく、帰りが遅くなる日もありますが、できる範囲で自分でコントロールして、早めに帰るよう努めています。帰宅後時間があれば、近くの公園までジョギングして、体を動かしてリフレッシュしています。

海外で活躍する職員からのメッセージ

防衛省から世界へ羽ばたこう

私は現在、日豪間の人材交流の一環として、オーストラリア国防省において勤務しています。こちらでは、太平洋島嶼国への能力構築支援を所掌する部署に配属され、国防省の一員として、巡視艇の供与・維持管理や乗組員の訓練など、各種支援に取り組んでいます。具体的な業務としては、各国との協議や、豪州海軍の現地連絡官との調整のほか、高官の答弁資料作成や予算管理も行っています。

これまでと全く異なる職場環境で、かつ一担当官としての役割を期待されることに苦勞を感じることも多いですが、その反面、外国政府で他の職員とほぼ同等の責任と権限を与えられて仕事をする醍醐味を味わえます。

このように、防衛省は諸外国との協力を拡大してきており、皆さんの活躍できる舞台がますます広がっています。国際的な仕事や安全保障に興味がある方は、防衛省を志してみてもいいのではないでしょうか。

Ⅱ種
語学(英語)

大野 高明

防衛政策局 国際政策課 日豪防衛協力室 調整係長 H20年入省
趣味：登山・自然散策 信条：「石の上にも三年」



オーストラリア国防省の前にて

はるか中東の大使館で勤務する防衛省職員の担当は経済

私は中東オマーンの日本大使館に勤務しています。主な担当は経済で、当地経済情勢の情報収集やオマーン政府との意見交換などを通じて、日本企業の経済活動支援をしています。防衛省職員が経済担当と聞くと不思議に思うかもしれませんが。私も最初はそうで、経済には必ずしも明るくありませんでしたが、日本企業がオマーンで発電所や海水の淡水化プラントを建設し電力や飲料水を供給している姿、また原油及び天然ガスを日本へ輸入しライフラインを支える姿を通じて、経済活動が国の発展に貢献し、地域の安定ひいては国際平和に寄与する側面を肌で感じ、今では防衛省からの出向者として、その一端を担えることに強いやりがいを覚えています。

防衛省職員の仕事は、防衛省においてのみあるわけではありません。オマーンからの私のメッセージが、皆様のイメージをいい意味で裏切って、良い刺激となれば幸いです。

Ⅱ種
語学(英語)

平田 剛士

外務省 在オマーン日本国大使館 三等書記官 H22年入省
信条：「明日は明日の風が吹く」 今後の目標：オマーンをすみずみまで知り尽くす



王立オペラハウスにてオマーン経済状況の意見交換

高校生の頃の夢が実現！

「僕は将来、国際的な仕事をする!」
高校生の時にそう決心した私は、大好きな英語を一所懸命に勉強し、防衛庁(当時)の採用試験を受験し、防衛装備庁の前身の調達実施本部に採用されました。以来、主に装備品の調達業務に従事してきました。そしてこれまでに、商社を経由して装備品を調達する一般輸入の連絡官として、ロサンゼルスで3年間、ニューヨークで2年間勤務し、28年3月からは、アメリカ政府から直接装備品を調達する有償援助調達(FMS)の連絡官として、ここワシントンDCに勤務しています。ワシントンDCは、極めて国際色の強い都市で、連絡官も世界中の国防機関から派遣されています。いろいろな国の人々と意見交換すると啓発され、また我が国の抱える問題の所在や解決策が見えてきます。私はこの恵まれた環境で仕事ができることを幸運に思います。このように、私は高校生の頃からの夢を実現しました。国際的な仕事に憧れて英語を勉強している皆さん、ぜひ防衛省で一緒に働きましょう。

Ⅱ種
語学(英語)

佐藤 進持

防衛装備庁 調達事業部 輸入調達官付 有償援助調達室 有償援助調達専門官 H元年入庁
趣味：B級グルメ、バービニアワイン、歴史散策 信条：「わからないことはわからないと言う」



日本大使公邸でのレセプション